

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 Tochigi安心・快適住宅

グループの名称 夢心ホーム住宅研究会

直近採択グループ番号 ---

(グループ代表者)

代表者名 船山 修一 代表者印  
代表者所属先 船山建設工業株式会社  
代表者所在地 栃木県さくら市喜連川6402  
代表者電話番号 028-686-3355

(グループ事務局)

事務局事業者名 船山建設工業株式会社  
事務局担当者名 船山 恭代 印  
事務局郵便番号 329-1412  
事務局所在地 栃木県さくら市喜連川6402  
事務局電話番号 028-686-3355  
事務局FAX 028-686-4254  
事務局担当者E-mail info@fcon.co.jp



B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸				
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸				
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸				
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸				
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸					
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸					
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		1	戸					
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
	申請が未確定(上限165万円)		4	戸					
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/					
			m <sup>2</sup>						
		申請が未確定	棟						
			m <sup>2</sup>						
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の期間を設けた上で、全施工業者を対象に募集を行う。</li> <li>・補助金希望者が補助枠を超えた場合は抽選とする。</li> <li>・顧客との契約が完了している物件のみを募集対象とする。</li> </ul>								
	長寿命型(長期優良住宅)	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
		補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
補正予算		採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸		
高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸		
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸		
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸		
E. 平成28年度の執行状況(必須)	優良建築物型		当初予算	採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸
			当初予算	採択床面積	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	m <sup>2</sup>





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) Tochigi安心・快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 栃木県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 夢心ホーム住宅研究会	(結成年) 2017年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	本グループでは下記の3点を地域型住宅の重視する性能とする。 1. 東日本大震災の影響を受けた地域であることから、性能表示基準での耐震等級2以上を確保する。 2. 栃木県は地域材として杉、桧に恵まれていることから、土台、柱の全数に使用していく。 3. 建物で最も熱の出入りが大きいのが窓であることから、窓には樹脂窓(Low-E複層ガラス)を使用する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・窓等の開口部や間取りが比較的自由に設定でき、将来リフォームしやすい木造軸組み工法を採用する。 ・夏季の日射遮蔽対策、冬季の断熱性能向上対策として樹脂窓及びLow-E複層ガラスを使用すると共に、夏季の追加日射遮蔽措置として、屋根ルーフィング及び透湿防水シートは遮熱タイプを使用する。冬季の追加断熱性能向上対策として、浴室(ユニットバス)には浴槽本体だけでなく、壁・天井・床部分にも断熱材を施工する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・性能表示基準での耐震等級2以上を確保できるように、階段以外の吹き抜けを出来るだけ設けないようにすると共に、耐力壁の位置を優先した間取りの提案を行っていく。 ・窓には断熱性能表示★★★★(最高等級)の商品を使用する。	◎
④①～③の背景	・栃木県は東日本大震災の被災区域が多く存在した地域であり、今後も首都直下型地震の発生が想定されることから、耐震性能を現行の建築基準法以上にしておく必要がある。 ・栃木県産木材を使用することは、木材の運搬距離が短くなり輸送に伴う二酸化炭素の排出を削減でき、地球温暖化の抑制につながる。共に、地域の林業が盛んになり地域経済の発展にも繋がる。 ・栃木県の夏は35℃を超える日もあり、冬は一日の寒暖差が大きいことから、熱の出入りの大きい窓の断熱性能を高めることは、エアコン等の空調機器の消費エネルギーの抑制に繋がる。また外皮性能の計算上は数値に表れてはこないが、屋根や外壁面への遮熱シート設置は夏の室内温度上昇を抑える効果が高い。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	性能表示基準での維持管理対策等級3、劣化対策等級3に準拠した設計・施工を行う。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	土台、柱、梁の寸法は幅、厚みは105mm×105mmに統一する。	
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 役員会を生産の合理化等に向けた検討委員会とする。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局では、グループで定めた標準仕様や推奨使用建材の統一化や調達の共同化の主動的役割を果たし、生産体制の合理化を目指す。	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の施工基準を作成し品質の安定化を図る	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通で施工チェックリストを作成し、チェックリストに基づいた工程毎の検査を実施する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで標準積算基準を作成し、施工会社が統一ルールに基づいた安定した見積・積算を行う。これによりグループの信頼性が向上すると考える。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局の支援の元に、建物や外構を含むパース(内観・外観)を作成する。これにより、顧客は建物を完成イメージに近づけることが容易となり、打ち合わせの時間短縮を図ることも可能となる。これにより、グループの信頼性が向上すると考える。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	住宅瑕疵担保責任保険で義務付けられている、第三者検査(基礎検査、躯体検査)に防水検査を追加する。これにより顧客からの信頼性が向上すると考える。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) Tochigi安心・快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 栃木県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 夢心ホーム住宅研究会	(結成年) 2017 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	--	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴の内容・蓄積方法はグループ共通で定める。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各社が顧客毎に作成した物件情報ファイルを確認する。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで作成した共通メンテナンスチェックリストに基づき建物引き渡し後、定期的(3か月、1年、2年、5年、10年、以降5年毎)に点検を行う。	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで作成した施工部位毎の保証規定に基づき、有償・無償の補修を実施する。	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで点検補修用の顧客台帳を作成し、定期点検の実施時期、補修の有無、補修がある場合は実施の有無についての情報を回事務局に報告する。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建物引き渡しの際、顧客毎に住まいの管理勉強会を開催する(1時間程度)	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 完成見学会にてDIY体験会を実施する。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 完成見学会にて相談会を実施する。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 役員会を維持管理委員会とする。グループ内のメンテナンス実施状況ととりまとめ、入居後の不具合や補修状況を統計的に分析し、検討する。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で倒産廃業が発生した時は、事務局が相談窓口となり、他の構成員企業に管理物件の引き継ぎを依頼する。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で勉強会を開催し、過去の瑕疵内容について共有を図る。(写真付事例集を活用)	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局及び経験工務店が施工技術研修会を開催し、未経験工務店へのフォローを行う。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで作成した、標準自主検査チェックリストに基づき、施工業者による自主検査を実施する。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計者が品質管理状況を確認し、事務局へ報告する。	◎
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の定期的なヒアリングにより、需給計画を策定する。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2020年に向けた省エネ基準などの性能基準の勉強会を開催していく。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で策定した設計・施工基準に基づき、各業種ごとの合理化に取り組む。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 5 今年度の参加目標人数 4	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 3 今年度の参加目標人数 3		○
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未参加の構成員(施工)に参加を促す。		○
c	① 新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。



1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> Tochigi安心・快適住宅	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 栃木県
2. グループの名称・結成年月(必須)	<small>(グループの名称)</small> 夢心ホーム住宅研究会	<small>(結成年)</small> 2017年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取り組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p><b>【ゼロ・エネルギー住宅の仕様】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全棟でBELS評価書を発行する。(ゼロエネ相当に適合させる)</li> <li>・提案する住宅の断熱性能地域区分は4地域、5地域とする。</li> <li>・外皮平均熱貫流率UA値を0.6以下とする。</li> <li>・太陽光搭載前の計算で、一次エネルギー消費量を基準値より20%以上削減する。</li> <li>・太陽光搭載後の計算で、一次エネルギー消費量を0以下とする。</li> <li>・窓は樹脂窓(Low-E複層ガラス+アルゴンガス入り)とする。</li> <li>・屋根、外壁には遮熱シートを施工する。</li> <li>・高効率給湯器、節湯水栓、高断熱浴槽、LED照明、リビングへの高効率エアコン、HEMS設置を推奨する。</li> </ul>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。